

第42号

寿都町
病児保育室

なないろだより

気になる
病気

クループ症候群(喉頭気管気管支炎)



クループ症候群は、ウイルス感染(主にパラインフルエンザウイルス)で喉頭(のどの奥)や気管が腫れて空気の通り道が狭くなる病気です。1~3歳の幼児に多く見られ、秋から冬にかけて発症することが多いです。

特徴は咳で、「犬の鳴き声のよう」「オットセイが鳴いているみたい」「喉が痛そう」と表現されることが多いです。「今まで聞いたことのない咳が出ている…」と思ったら、クループ症候群の可能性が高いです。

症状

- ① 特徴的な咳
オットセイの泣き声のような咳
- ② 喘鳴(ぜんめい)
息を吸う時に「ヒューヒュー」や「ゼーゼー」といった音が聞こえる→気道が狭くなっている為
- ③ 嘎声(さえい)
声がかすれたり、しゃがれ声になることも
- ④ 呼吸困難
症状が進むと呼吸が苦しくなることも
- ⑤ 発熱
軽度から中等度の発熱を伴うことが多い

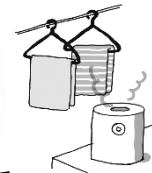


特徴

- ① 多くの場合、夜間に症状が出現し、急激に悪化することがあります。
- ② 1~3歳の幼児に多く見られますが、6か月~5歳位までの範囲で発症することがあります。
- ③ 多くの場合、3~7日程度で自然に症状が改善します。



対処法



ちょっとした刺激で咳き込んで止まらなくなってしまうことも。刺激にならないように、冷たい空気や乾燥した空気をなるべく吸い込まないようにしましょう。

お家では加湿器を使ったり、洗濯物を干したりし湿度を保つことで症状がよくなることもあります。温かい飲み物を飲むこともおすすめです。

注意!

呼吸困難が心配な病気なので、咳が止まらない、呼吸が苦しそう、胸やお腹がペコペコするなどの気になる症状が見られた場合は夜間でも受診をしましょう！



保育の様子



じゃーん♪

美味しいご飯が出来ましたよ～☆

今日の私
どうかしら♡

<利用状況>

12月は25名、1月は23名のお子さんのご利用がありました。

- 主な病名はこちらです。
- ・かぜ
- ・インフルエンザ A
- ・マイコプラズマ肺炎
- ・RS ウィルス
- ・副鼻腔炎
- ・溶連菌
- ・手足口病

